

上方落語五流派競演会 Vol.3

桂

あやめ



桂

梅団治



林家

山染



桂

あやめ



笑福亭松喬



2009年

5月30日[土] 15:00開演 (14:30開場)

茨木市市民総合センター

クリエイトセンター・センターホール

【全席指定】1階席3,000円／2階席2,500円 *3月18日(水)発売

◎65歳以上、18歳以下、障害者及びその介助者は500円引き
◎茨木市観光協会、茨木市勤労者互助会、OSAKAメセナカード各会員は10%引き
*各会員割引の取り扱い文化振興財団のみです
*就学前のお子様のお入場はご遠慮ください

◆チケットのお申込み・お問い合わせ

(財) 茨木市文化振興財団 072-625-3055 (茨木市市民会館1階 8:45~17:15)

◆その他の販売所

JA茨木市本所 072-627-7762 (総務課) / 朝日野村北摂販売(株) 072-643-8424
ローソンチケット 0570-000-777・Lコード予約 0570-084-005 (Lコード51785) ※ローソン各店舗で購入できます
電子チケットぴあ 0570-02-9999 (Pコード393-049) ※ぴあでは割引の取扱いはありません

◆主催: (財) 茨木市文化振興財団 ◆後援: 茨木商工会議所 ◆制作: 三栄企画 ◆構成: 相羽秋夫

【番組】
「上方落語界の現状」 相羽 秋夫
*
「こんにやく問答」 林家 小染
「つぼ算」 桂 梅団治
「厩火事」 桂 ざこば
中人
「コンパ大作戦」 桂 あやめ
「はてなの茶碗」 笑福亭松 喬

お囃子/なにわの会

五つの流派のガチンコ激突！



相羽秋夫

演芸評論家
大阪芸術大学教授

上方落語界は、今二百人以上の落語家が在籍しています。それらの人たちは、大きく分けて、五つの流派のどこかに所属しています。

桂米朝を師とする米朝一門、桂春団治が率いる春団治一門、故桂文枝の元に集まった文枝一門、林家染丸を統帥とする林家一門、それに故笑福亭松鶴が育て上げた笑福亭一門の五流派です。

それなりにそれぞれの一門には特色があつて、それぞれの違いを聴き比べようとするのが、今回の企画です。隔年に催され、今回で三回目になります。過去二回は大好評で、発売数日で完売という状況でした。そうした皆さんの熱い期待が、今回の開催につながりました。

現在、落語ブームであると言われています。これは戦後初の快挙で、ことさら上方落語は戦後十数人の落語家しかおらず、滅亡の危機とささやかれた状態をはねのけての今日ですから、感慨深いものがあります。漫才の直截的な笑いに対し、落語は奥行の深い味わいがあります。人々は、そうした笑いの存在を知って落語に注目するようになったのです。

また大阪に初の落語の定席「天満天神繁昌亭」が出来たことも、大きな後押しとなりました。このブームが永續するには、落語の笑いをいかに正確に伝えるかにかかっています。「五流派競演会」は、そうした魅力を伝える何よりもぜひいたくな催しです。

今回も粒選りの逸材がずらりと顔を並べました。必ずや皆さんの満足にお応えすることでしょう。では、その五人の演者を出演順にご紹介します。

開口一番は林家一門の林家小染です。天逝した先代

小染に入門し、師没後に現在の染丸門下となり、その後一門をかまえました。

林家の重要な存在として、弟弟子の指導にも尽力しています。

因みに、小染夫人は、今回出演しているあやめの姉さんで、落語の囃子方でもあります。

二番手は、春団治一門の桂梅団治です。春団治、福団治、小春団治と、この一門は「団治」の付く名前が多いことから想像出来るように、重要な存在であることがわかります。

熱狂的な鉄道マニアでSLを撮り続けています。

中入りのトリは、ファン待望の桂さこばが、米朝一門を代表して出演してくれました。

ご存知のように、マスコミの世界で大活躍をしているさこばは、上方落語の中核で皆を引っばっています。

一門の中でも、枝雀亡き後、筆頭弟子の重責を果たしています。米朝が最も信頼し、たよりにする存在です。

文枝一門からは、桂あやめが代表に選ばれました。

NHK朝のテレビ小説「ちりとてちん」の放送で女流落語家が一挙に十人を越えましたが、あやめは、その草分けとしてがんばってきました。

創作落語に活路を開いているベテランです。

大トリは、笑福亭一門の笑福亭松喬です。この名前は、松鶴同様、門下の大名跡で、現代で六代目になります。

重厚な語り口は早くから注目を集め、文化庁の芸術祭優秀賞をはじめ数々の賞に輝いています。

絵画や魚釣りなど幅の広い趣味人で、これが本芸の底辺に流れています。

〈敬称略〉

◆チケットの取り扱い・お問合せ

(財)茨木市文化振興財団 072-625-3055 (茨木市市民会館1階 8:45~17:15)

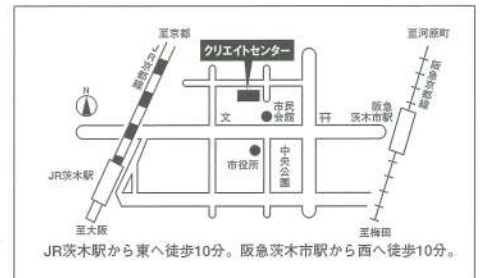
* 発売初日から電話予約もお受けしますがお席はお選びいただけません。

* 予約後は、1週間以内に財団窓口でご精算ください。

* 予約チケットの郵送をご希望の場合は、〈チケット料金+郵送料400円〉を、郵便局備え付けの「払込取扱票」でお支払いください。手数料はご負担願います。払い込み確認後の発送となります。

〈振替口座〉00970-7-190576 / 加入者名: 財団法人茨木市文化振興財団

* 窓口販売と電話予約が競合する場合は窓口販売を優先しますので予めご了承ください。



JR茨木駅から東へ徒歩10分。阪急茨木市駅から西へ徒歩10分。

茨木市市民総合センター(クリエイトセンター) 茨木市駅前四丁目6番16号 TEL072-624-1726

印刷パッケージ材料・シール印刷製品のご用命は当社まで

日栄印刷紙工株式会社

〒567-0878 大阪府茨木市蔵垣内1丁目1番9号

TEL: 072-627-7001(代) / FAX: 072-627-7045